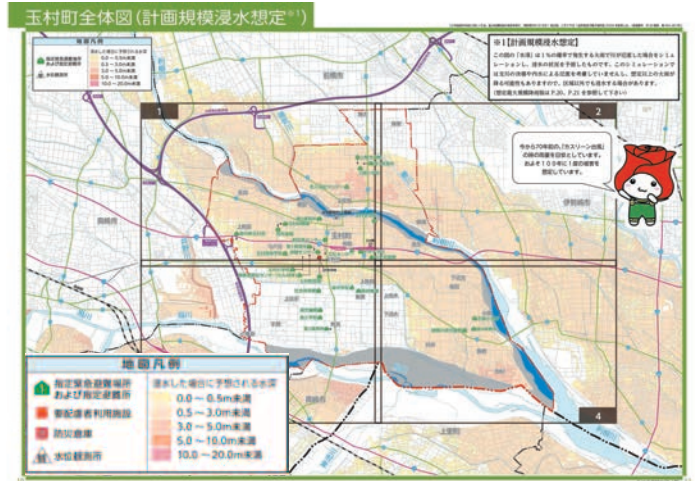
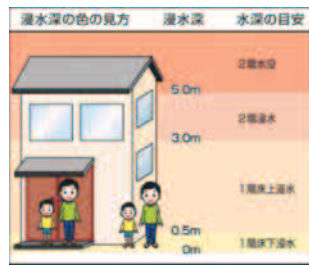


# これからの洪水避難について

「避難する」と聞いて、みなさんはどんなことを思い浮かべますか？大半の人は「避難所へ逃げる」と答えると思います。しかし、避難とは、「難」を「避ける」ことです。新型コロナウイルスとの共存が避けられないなか、水害発生時の避難について家族全員で考えましょう。

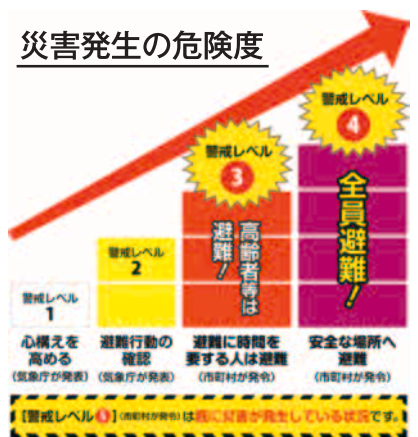
## 1) 水災害のリスクの把握

日頃から自宅の浸水深を「玉村町総合防災マップ」P10からP19のハザードマップで確認しておきましょう。



## 2) 避難の判断

町では、河川の水位上昇や降雨量などの状況から、避難情報を発令します（右イラストのとおり）。水害発生時の避難の方法等については、「3) 避難の方法」と裏面の「避難行動判定フロー」を使って確認しておきましょう。



## 3) 避難の方法（いろいろな方法があります）

### ① 避難場所への避難

町が指定する避難場所等への避難のこと。避難場所を開設するときは、「メルたま」や町のホームページ、FMラジオ、広報車などでお知らせします。なお、避難場所の受入人数は、「3密」防止のため制限されます。

※食料や水、毛布などのほかにマスクや手指消毒薬なども持参してください。

### ② 垂直避難

想定される浸水深より高い所に避難すること。想定浸水深が3m以下（ハザードマップの最も薄いピンク色）の場合、自宅の2階へ留まることも「垂直避難」にあたります。

### ③ 遠方避難

浸水被害のおそれのない親戚や知人宅、ホテル等へ避難すること。

### ④ 車中避難（指定緊急避難場所等の安全な場所で車の中で待機避難）

血流が悪くなるため「エコノミークラス症候群」への注意が必要です。

## 避難するときの注意

避難をするときには道路冠水などに注意してください。「玉村町 内水氾濫マップ」（玉村町内水氾濫マップで検索するか、右記 QR コードから見られます）で、自宅から避難場所までの浸水箇所を確認して、安全な避難経路を考えておきましょう。「玉村町 内水氾濫マップ」をぜひお気に入りに登録してください。

